

# 介護の手

## — 介護施設を知る —

高齢者の生活を支える介護施設。介護施設と一口に言っても、さまざまな種類があり、それぞれの特徴や役割があります。今号では、介護施設で活躍する職員のインタビューを通して、施設の紹介をします。



### 小規模多機能型居宅介護

対象 要支援 1 ～

在宅で介護を受けている高齢者へ、デイサービス・ヘルパー・ショートステイを提供する施設です。

当施設では、その方のニーズに合わせて、通い・訪問・泊まりのサービスを提供しています。すべてのサービスを同じ職員で対応し、それぞれに合った時間で利用できるため、利用している方も家族も安心して通うことができるのが魅力の1つです。もう1つの家として、楽しく穏やかな日々を過ごすことができます。

皆さんに楽しんでもらえるよう、毎日さまざまなレクリエーションを行っています。お菓子作りでは、自分で作る達成感と自分が作ったものを食べられる喜びを味わうことができます。ワクワクを提供する側の私も楽しませてもらっています。



なごみの郷  
介護福祉士 石原 陽子

### グループホーム（認知症対応型共同生活介護）

対象 要支援 2 ～

認知症と診断された方が職員のサポートのもと、みんなで食事や洗濯、掃除などを行い、共同生活をする施設です。

認知症の方が自分らしく過ごせるよう、生活のお手伝いをしています。認知症の方は、自宅だとやりたいことをやらせてもらえないなど行動を制限されることが多いですが、職員と一緒にいることで、自身の役割を持って生活することができます。また、職員と買い物に行ったりと、外にお出かけすることも可能です。

私たち職員は、本人のストレスにならないよう、否定するのではなく、認知症の方が見ている世界に入り込んで、同じ目線に立って対応するように心がけています。実際、そうすることで、本人も穏やかに過ごせています。入居者の皆さんの笑顔が私の癒しです。



百楽苑  
管理者（介護福祉士）  
佐藤 実穂